

前橋市立図書館だより

LIBRARY LIFE

FROM BANGLADESH

図書館サポーターとして活躍中

カレク エムディ アブドウルさん

市立図書館では運営ボランティア・図書館サポーターを随時募集中。希望者はお問い合わせください。

母国バングラディッシュの図書館は社交の場で、日本の図書館のように静かではありません。利用者は多くが学生で、高齢者や子どもは多くないんです。以前に日本の中学校で英語を教えるボランティアをしていたこともあります。前橋市立図書館のサポーター活動の中では、日本語にもっと詳しくなれればと思っています。今は大学でビジネスを専攻していて、卒業後は日本での就職を考えています。

令和元年

10

2019

2019.10.17^{thu} - 11.10^{Sun}
MAEBASHI CITY LIBRARY FESTIVAL



私のおすすめの一冊

上毛新聞社前橋支局長 石垣光広さん

BORN TO RUN
走るために生まれた NHK出版
クリストファー・マクドゥーガル著

20 年ほど前から山に登っている。日々情報に追われる中、自分を空っぽにしてリセットするためだ。だが、5 年ほど前、仕事が猛烈に忙しく、山に行く時間が取れなくなった。そこで時短のため試しに山を走ってみると、何とも気持ちいい。こうしてトレイルランニングを始めたときに会った米発のベストセラー。自らランナーでもある著者が「なぜ走ると足が痛むのか」の答えを求め、人類最強の走る民族を探してメキシコの秘境を旅する。走ることは人間の本能だという。速い遅い、得意不得意は関係ない。読後は意味もなく野山を駆け回りたくなるはずだ。



上毛新聞社 | www.jomo-news.co.jp

休館日 祝日の場合は開館し翌日休館

本館、上川淵・下川淵・桂萱・元総社・総社
総合教育プラザ・南橋・大胡・富士見分館

月曜

城南・東・芳賀・清里・宮城・粕川分館

木曜

前橋こども図書館

第4水曜

※10月9日(水)から15日(火)までは本館が特別整理で休館に。また、地区文化祭で各分館の休館日が変更になることがあります。

今月号はいかがでしたでしょうか。まだ暑さは残るものの、朝晩の空気が徐々に涼しくなってきました。秋が少しずつ近づいています。秋といえば読書の秋。今や本はネットで購入し、スマートフォンアプリを利用して、電子書籍を読むことも珍しくありません。個人的には実際に本を手にとって読みたい、選びたい派です。その場でページをパラめくり、これ面白そうかもとワクワクしたり、本を探しに気ままに本棚を眺めていたら、思いがけないジャンルの本を見つけたり…。秋は、そんな本との出会いがある図書館に出かけてみませんか。この秋開催する「ふれあい図書館まつり」では、期間中に「まだ見ぬ本や知識との出会い」が得られる多彩なイベントをご用意しています。今年も様々な本たちと共に、皆様のご来館をお待ちしています。秋の夜長にゆっくりと読書はいかがでしょう。(高山)

新刊案内



時間は存在しない

カルロ ロヴェッリ著 NHK出版
ホーキングの再来と評される天才天文学者が「物理学的に時間は存在しない」という考察を展開。私たちがなぜ時間を感じるかを哲学や脳科学から論じる

絶対に住めない世界のゴーストタウン

クリス マクナブ著

日経ナショナルグラフィック社

無理な都市計画や紛争、疫病、環境破壊。町がまるごと廃墟の101カ所を、廃墟になったワケとともに写真で紹介



和歌と暮らした日本人

恋も仕事も日常も

浅田 徹 著

淡交社

恋の思いを伝えたり、お悔やみを述べたり、周囲に認めてもらえない苦しみを独白したり。平安時代から江戸時代の終わりまで、人々に使われた和歌を綴る

読書の秋。皆さんはどうお過ごしですか。

図書館では読書週間(10/27~11/9)に合わせて様々な催しを企画します。

皆様のご参加をお待ちしております。

館長
伊井直文の
つぶやき



編集よもやま話

前橋市立図書館
JP-1000546

図書館だより 第354号 令和元年10月発行
〒371-0026 前橋市大手町二丁目12番9号
TEL 027-224-4311 FAX 027-243-1877



WEB
SITE

蔵書検索
調査相談
利用案内



OPENING EVENT

映画上映会 ぶちシネマ

01 毛糸の指輪 向田邦子シリーズ



身寄りのない若い娘と子どものいない初老の夫婦。向田邦子がこよなく愛した昭和の小市民の心模様を描く。

出演：森繁久彌、大竹しのぶ、岡本富士太、三條美紀

● 10月17日(木) 午後2時～3時

会場＝本館3階視聴覚室

対象＝一般、先着30人

申し込み＝当日同館へ直接

特別展示「明治・大正の時代を読む」



大正15年に開催した「新聞展覧会」のために集められた全国各地の新聞を展示。普段未公開の貴重資料がそろいます。

● 11月4日(月) まで

会場＝本館2階展示室

04

ブックリサイクル

05



- ① 11月7日(木) 午前11時～午後0時30分
- ② 11月7日(木) 午後2時～3時30分
- ③ 11月9日(土) 午前11時～午後0時30分



02

森と空と水の移動図書館 企画展 「荒井良二 森と空と水の絵本」

絵本作家・荒井良二さんの立体作品を中央図書室内に展示するほか、貸し出し用の関連書籍を集めた特設コーナーを設置します。

● 10月17日(木)～11月10日(日)

会場＝本館中央図書室

MAEBASHI CITY LIBRARY FESTIVAL

5つの文化企画を実施。映画に展示、リサイクルブックとの出会いを前橋市立図書館で楽しんでください。

2019.10.17^{thu} - 11.10^{Sun}

図書館の除籍本を、1人10冊まで無料で差し上げます。本は毎回2,000冊を用意。持ち帰り用の袋は持参してください。本の配布会場は本館地下講堂です。

対象＝一般、各100人(抽選)

申し込み＝10月1日(火)～11日(金)(消印有効)に往復ハガキで(1人1通)。希望する回(第2希望まで)・住所・氏名・電話番号を記入し、〒371-0026 大手町二丁目12-9・前橋市立図書館サービス係へ

前橋こども図書館



EVENT

WEB
SITE



絵本読み聞かせイベントなど詳しくは同館ウェブサイトをご覧ください。

ころとんからのちょうせんじょう！ カードをひいて本をさがせ！！

本を探すレファレンスクイズ(幼児から小学校低学年向け)を開催。図書館利用カードが必要です。

日時＝10月28日(月) 午前10時～午後6時

まるまるふくろ 10月24日から〇〇袋の貸し出しを開始

テーマと年齢に沿った本を図書館スタッフと公募の市民が選び、3冊と5冊のセットにします。そのセットを袋に入れ、中身がわからない状態で貸し出します。自分では選ぶことのない本との出会いや袋を開けるときのワクワクした気持ちを味わってください。貸し出しは10月24日(木)から。全て貸し出しになり次第終了です。



問 前橋こども図書館 ☎027-230-8833

LIBRARY FESTIVAL



03

文化講演会 松平家記録から読み解く武士たちの実相

FOCUS

10月27日から11月9日までは読書週間。これに合わせて、ふれあい図書館まつりを開催。文化の秋は図書館で過ごしましょう。

読書週間に ふれあい図書館まつり

ふれあい図書館まつりでは「松平家記録から読み解く武士たちの実相」幕末情報報の混乱の中で京都派遣の武士たちは、どのように時勢の推移等を把握しようとしていたか」をテーマに文化講演会を開催します。講師は当館の前橋藩松平家記録編集室で、同記録の解説と監修をしている駒形義夫さん。幕末の混乱の中、藩士たちは事の真相をどのように見極めたか、藩政の中枢部は同盟諸藩等といかに情報交換をしていたのかを探ります。

日時＝10月26日(土) 午後1時30分～3時30分

会場＝本館地下講堂

対象＝一般、先着80人

申し込み＝10月23日(水)までに同館へ電話か直接

図書館での前橋藩松平家記録解説

前橋藩松平家記録は、松平家(徳川家康の二男結城秀康の系統、越前家)の奥州白河城主であった元禄11年(1698年)から明治2年(1869年)までの藩政記録です。前橋市立図書館が所蔵する一連の古文書で、群馬県指定重要文化財に指定されています。この記録は藩の用番家老が交替で書き継いだもの。藩主

の日常や家中の動向、藩政の実態、幕府とのやりとり、城下町の様子などさまざまなことが記録されていて、まさに近世史研究の第一級史料といえます。当館ではこの貴重な記録の解説作業を昭和61年に開始。平成6年に活字化した「前橋藩松平家記録第1巻」を発行しました。平成18年度には最終巻(第40巻)を発行し、刊行事業は終了。この記録40巻は館内閲覧と貸し出しを行なっているほか、記録の原本はマイクロフィルムでご覧いただけます。

前橋市立図書館を支える サポーターを募集しています

図書館サポーターは、市立図書館と前橋こども図書館の運営を支えるボランティア。経験や資格などは必要ありません。本の修理やイベントの手伝いなど一緒に取り組みましょう。申し込みは本館まで。



Supporter